

学生が萑崎駅周辺を調査

民の記憶を冊子やイベントで紹介して地域の活性化につなげたいとしている。

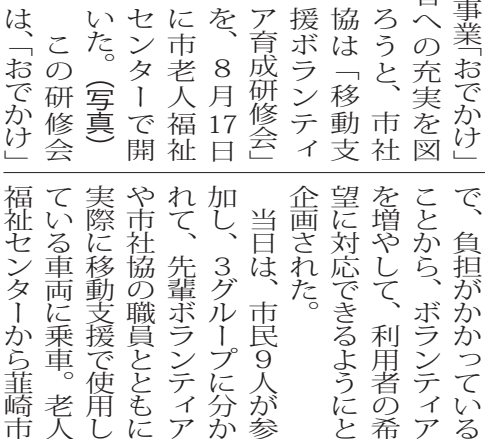
たことがきっかけで、ゼミのメンバー6人は、今年5月〜8月に市民や駅関係者などから、197

集まった資金の用途は、「失われゆく葦崎駅の歴史」と「スイッチバツクだった時代の葦崎市民

「おでかけ」に9人参加

高齢者移動支援の研修会

葦崎市社会福祉協議会 移動支援事業「おでかけ
が実施している高齢者の
の利用者への充実を



CFは「キャンプファイヤー」で「葎崎駅がスィッチバックだった時代」と市民の暮らしを未来へ「繋ぐ」と検索する。詳細は☎090・9938・9675（内藤）まで。

の利用件数が月平均約30件あり、登録ボランティアの28人のうち、活動できているのが10人程度

役所、荏岐中立病院を巡る約6キロを参加者が運転して、車間距離や速度など、同乗者に配慮する運

「ストリートナイト」

「パン」をテーマに開催

青少年育成プラザ「ミ
アキス」で働く向山ひか
りさん（23）と、ミアキ
スの卒業生10人で組織す
る「アフターミアキス」
は、9月13日にアメリカ
ヤ駐車場周辺を会場にし
て、一夜限りの「ストーリー

店街の活気を取り戻すた
め、アメリカヤ駐車場に
中央町にオープンした。パ
ーン店や本町の飲食店など
のブースを設けて、ビー
ルやワインに合うパン
をテーマにした限定メ
ニューを提供するほか、

とのつながりが広がることなどを紹介した。

藤井町から参加した白倉義久さん（77）は、「他人を車に乗せる際には、普段以上に慎重に、余裕を持って運転しようと思った。いずれ自分も利用するサービスだと思うので、サービス自体を知るいい機会になった」と話した。

このほか、アメリカヤ店内には、古着や陶器、花などの物販ブースが並ぶとしている。

向山さんは、「商店街に気軽に遊びに来るきっかけになればうれしい。葦崎が盛り上がりつつあるところを感じてほしい」と

と来場を呼びかけている。午後5時開会。問い合わせは☎45・9919まで。

「うらやき落語」 26日に追善公演

にらさき落語会（深沢新生会長）は、2024年8月に逝去した同会の小沢愛一郎会長が開いていた「ラ・ソバ寄席」が100回公演目前の99回で止まってしまったことから、その遺志を継ぎ、9月26日に「追善公演100回記念ラ・ソバ寄席」を東京エレクトロン葦嶺文化ホールで開く。

この追善公演は、ラ・ソバ寄席の100回公演を「楽しみに準備していた」という小沢さんの願いを叶えようと、今年3

月から準備を進めてきたもので、小沢さんと生前に親交のあった春風亭柳橋さん、春風亭柳之助さん、葦崎市出身の春風亭弁橋さんが出演する予定。

ラ・ソバ寄席は、小沢さんが07年から地域住民に落語を生で鑑賞してもらい、落語の面白さや落語の文化を地域に広めようと、約20年に渡って99回、同氏が経営していた飲食店で開いていたもので、寄席自体が休止していた。

深沢会長は、「ぜひ足を運んでほしい」と来場を呼びかけている。午後1時開演で前売り券は2000円（当日券2500円）。詳細は☎090・2647・5015（深沢）まで。

地震や火災のみならず、これまでにない規模・タイプの災害が相次ぐ昨今。いざという

防災の知識、地域へ

藤井町
輿水
讓さん

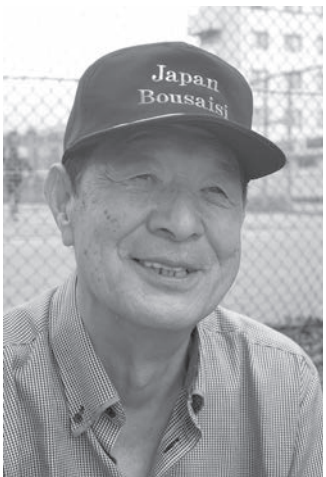
元消防士の経験を生かし、子どもから大人まで幅広い世代に防災の知識を伝えている。

■ 葦崎カトリック白百合幼稚園で、毎月行っている避難訓練への協力や公民館などの地域

署、消防士となった。

当時、緊急車両に車載のナビゲーションはなく、通報時の聞き取りと土地勘が欠かせなかった。救急・火災・救助と多くの現場を経験する中で、防災に関

けで、この秋でちょうど7年になる。毎月異なる想定で訓練を行い、年長児になる頃には多い子で50回近くの訓練を経験しているため、避難もスムーズになるといふ。9月は各



災害と一言

根付きつつある。

このストリートイート
ナイトは、県立荊崎高等
学校から今年4月に都留
文科大学に進学したミア
キス卒業生の加藤真梨亜
さんから「荊崎を離れて
荊崎が好きだと感じた」
という言葉聞いた向山
さんが、「荊崎に思いの
ある卒業生と一緒に荊崎
でイベントができない
か」と呼びかけ、11人が
そろった。

メンバーは、今年6月
から検討を重ねて、アメ
リカヤがオープンした1
960年代の駅前通り商

タウンス情報

■穂坂自然公園イベント

糠坂自然公園すれあいゼンターでは、9月12日、「江戸小紋で型染め体験」(参加費1000円)を開く。開会第一部が午前10時、第二部は11時。また、27日は「糠坂ぶどうでジャムづくり」(500円)が開かれる。午前10時開会。問い合わせは ☎37・4362まで。

com)まで。

■行政書士無料相談会
山梨県行政書士会は、9月20日に東京エレクトロン蒔崎文化ホールで「行政書士無料相談会」を開く。午前10時開会。問い合わせは☎22・7676まで。

■無料法律相談
9月25日に蒔崎市役所で

による「男性介護者のひろ
ば」が開かれる。定員40人
(先着順)。参加無料。午後
1時開会。問い合わせは
090・4222・6226
6(広瀬)まで。

■銀河鉄道の森キャンプ
甲府21ワイズメンズクラ
ブは、9月21日に銀河鉄道
の森で「銀河鉄道の森デー

崎アリーナで開く。対象は
中高生や保護者、指導員
定員30人（要予約。参加
費無料（別途キット購入費
13000円）。問い合わせ
は☎22・0498まで。

■相続相談会

華崎市役所で9月24日に
「相続相談会」が開かれる。
対象は市民または、市内に

★森の小さなコンサート
八ヶ岳ストリングアンサンブルによる「第14回森の小さなコンサート」が、10月18日に北杜市の八ヶ岳やまびこホールで開かれる。入場無料。午後2時開演。詳しくは☎090・82264・6928（伊藤）まで。

山梨県弁護士会による「無
料法律相談」が開かれる。
定員6人で要予約(先着
順)。午後1時開会。詳し
くは☎45・9223まで。

■シニアカフェ

韮崎市食生活改善推進員
会は、10月7日、韮崎市保
健福祉センターで「シニア

開く。対象は6歳〜15歳で、定員35人。参加費1人で2500円。荏岐市民は午前10時30分頃に現地集合（場所の詳細は申し込み時に通知）。詳しくはメール(sadaohome43@icloud.com)ください。

■蛍雪寮で聴く「猟銃」
9月12日に、蛍雪寮でサ
ロンわたの実主催の朗読会

カフェ」を開く。対象は市民で、定員24人(要予約)。参加無料。申し込み期間は

■ バランスセミナー
東京エレクトロン 荻崎ア
リーナでは、9月7日、10

9月定例市議会開会

物価高対策、クマ対策を予算化

案や2025年度歳入歳出決算、条例改正など32案件を提出することを発表した。今議会の会期は9月3日～25日までの23日間で、代表質問と一般質問は14日と15日を予定している。

資料は年額1000万円で、期間は31年8月まで。このほか、9月下旬に「葦崎市制祭」では、サンのパフォーマンスや働く車の乗車体験、音楽祭などのプログラムを用意しているとした。

町通り商店街などを歩行者天国にして開催予定の「葦崎市制祭」では、サンのパフォーマンスや働く車の乗車体験、音楽祭などのプログラムを用意しているとした。

は、物価高騰に伴う子育て世帯の負担を軽減するため、0歳～高校生1人あたり5000円を支給する「子育て世帯物価高騰対策臨時支援給付金」(1757万円)をはじめ、クマ対策や鳥獣被害

防除事業費補助金などにかかる「有害鳥獣駆除対策事業費」(393万円)、空調機器更新工事や美術館管理運営業務委託費の増額に伴う「美術館管理運営費」(4104万円)など。

いて「(北西地区)」、「ゆるるにらさきの今後に ついて」(北東地区・写真)、「地域の安全対策」(葦崎地区)、「鳥獣害対策」(甘利地区)などが上がり、各地区の担当市議が市からの回答を報告した。

100周年を迎え、8月24日に、穂坂町のシャトレーホテルにらさきの森で、100周年記念式典や「写真コンテスト」の表彰式、また、記念講演に元山梨日日新聞社で、JPS日本写真家協会会員の鶴田圭吾さんを迎えた。

者にプレゼンテーションを行い、事業連携や協業などにつなげる「TRYAMASHI」(山梨県主催)が、8月24日に葦崎市民交流センター1コリで開かれ、葦崎市や北杜市の事業者3人が事業への思いを語った。

当日は、県内企業や大学などから約40人が参加し、ドメーヌ・アサノハ(神山町)の青山優介代表や一般社団法人北杜山守隊(北杜市)の花谷泰広代表理事、ガスアズインターフェイス(東京都)の西野慎二郎代表が登壇して、各代表が20分間の持ち時間でプレゼンした。

定例会の内容を説明

葦崎市議会の巡回報告会

長は、本町の葦崎市民総合運動場体育館跡地に整備している「芝生広場」を10月4日から供用開始するとし、バスケットボールコートとランニングコース(1周340び)、ブランコ、滑り台などを設置したことを明らかにした。

また、葦崎市民交流センター1コリのネーミングライツ(命名権)パートナーとして、穂坂町の株式会社ササキとパートナーシップ協定を締結し、9月1日から「ササキニコリ」になると話した。市の財務政策課によると、ネーミングライ

ツ料は年額1000万円で、期間は31年8月まで。このほか、9月下旬に「葦崎市制祭」では、サンのパフォーマンスや働く車の乗車体験、音楽祭などのプログラムを用意しているとした。

て報告しているもので、今回で17回目を数えた。5会場で行った「共通テーマ」では、市が市議会に提出した案件の行政手続きのオンライン化を推進する条例をはじめ、市健康ふれあいセンター「ゆるるにらさき」を廃止する条例、市営総合運動場テニスコートの改修工事請負契約の締結など、計54案件を可決したことを説明。

また、議員定数等調査特別委員会の進捗状況について報告しているもので、今回で17回目を数えた。5会場で行った「共通テーマ」では、市が市議会に提出した案件の行政手続きのオンライン化を推進する条例をはじめ、市健康ふれあいセンター「ゆるるにらさき」を廃止する条例、市営総合運動場テニスコートの改修工事請負契約の締結など、計54案件を可決したことを説明。

このほか、各地区では市民と市議との意見交換会も開かれ、「黒沢川の雑草の繁茂は、景観を損なうだけでなく、災害防止の面でも悪影響なので、浚渫(しゅんせつ)をしてほしい」(葦崎地区)や「沢橋西詰めの交差点に一時停止の標識を設置してほしい」(北西地区)などの要望が寄せられた。

当日は同協会100周年記念式典に続いて、Yamashiro写真コンテスト」の表彰式が開かれた。入選者22人の内、葦崎市からは、20th Anniversary)戸島おさむさん(登志満写真館)、「うじやないでっ!」(戸島真一朗さん(登志満写真館)の作品が選ばれている。

記念講演講師の鶴田圭吾さんは、元山日日新聞のカメラマンとして、1985年(昭和60年)の日航機墜落事故の現地取材や、1995年(平成7年)5月の麻原彰晃教祖逮捕の護送写真スクープで「日本新聞協会賞」(報道写真部門)を受賞したほか、現在はサッカーJ2ヴァンフォーレ甲府のオフィシャルカメラマンとして活動している。

講演では、「写真は語る」をテーマに、テレビの放送記者として就職した当時の機材や事件、動画の世界から写真の世界に転換した出来事、写真に對する反応の大きさや現取材の経験などを紹介し、「1995年麻原教祖逮捕の写真が、大きな人生の節目になった」と語り、その瞬間を撮影するまでのエピソードでは、「幸運が1つあっただけじゃなかった」と1枚の写真について紹介した。

葦崎市9月定例市議会を前にした8月27日、定例記者会見が開かれ、一般会計に5億5308万円を追加補正し、一般会計の総額を183億2606万円とする補正予算

また、葦崎市民交流センター1コリのネーミングライツ(命名権)パートナーとして、穂坂町の株式会社ササキとパートナーシップ協定を締結し、9月1日から「ササキニコリ」になると話した。市の財務政策課によると、ネーミングライ

ツ料は年額1000万円で、期間は31年8月まで。このほか、9月下旬に「葦崎市制祭」では、サンのパフォーマンスや働く車の乗車体験、音楽祭などのプログラムを用意しているとした。

町通り商店街などを歩行者天国にして開催予定の「葦崎市制祭」では、サンのパフォーマンスや働く車の乗車体験、音楽祭などのプログラムを用意しているとした。

は、物価高騰に伴う子育て世帯の負担を軽減するため、0歳～高校生1人あたり5000円を支給する「子育て世帯物価高騰対策臨時支援給付金」(1757万円)をはじめ、クマ対策や鳥獣被害

防除事業費補助金などにかかる「有害鳥獣駆除対策事業費」(393万円)、空調機器更新工事や美術館管理運営業務委託費の増額に伴う「美術館管理運営費」(4104万円)など。

いて「(北西地区)」、「ゆるるにらさきの今後に ついて」(北東地区・写真)、「地域の安全対策」(葦崎地区)、「鳥獣害対策」(甘利地区)などが上がり、各地区の担当市議が市からの回答を報告した。

100周年を迎え、8月24日に、穂坂町のシャトレーホテルにらさきの森で、100周年記念式典や「写真コンテスト」の表彰式、また、記念講演に元山梨日日新聞社で、JPS日本写真家協会会員の鶴田圭吾さんを迎えた。

者にプレゼンテーションを行い、事業連携や協業などにつなげる「TRYAMASHI」(山梨県主催)が、8月24日に葦崎市民交流センター1コリで開かれ、葦崎市や北杜市の事業者3人が事業への思いを語った。

当日は、県内企業や大学などから約40人が参加し、ドメーヌ・アサノハ(神山町)の青山優介代表や一般社団法人北杜山守隊(北杜市)の花谷泰広代表理事、ガスアズインターフェイス(東京都)の西野慎二郎代表が登壇して、各代表が20分間の持ち時間でプレゼンした。

学校統合に反対の声

穂坂小の懇談会を報告

葦崎市の小学校と中学校の適正配置を検討する「第7回葦崎市立小、中学校適正規模・適正配置検討委員会」が、8月25日に市役所別館で開かれ、葦崎市教育委員会が7月25日に市立穂坂小学校で開いた統合に関する説明会の「地域懇談会」で上がった意見や内容を報告した。(写真)

25日に開かれた委員会は、学校運営協議会や学識経験者など12人が出席。事務局から懇談会で「子どもの在学中に統合となれば、負担になる」や「小規模であることが教育の不利にはならない」、「学区を見直し、児童の偏りを小さくすべき」、「児童や卒業生に意見を聞いてほしい」など、

12件のすべてが統合反対の意見だったことが報告された。委員からは、「通う学校を選べる環境を検討していくことも必要」や「学区を越えた通学が可能かどうかも含めて考えるべき」、「学校を選べるのはいいが、市内で児童を取り合うことになるので、少子化と照らし合わせて検討する必要がある」としている。

校を選べる環境を検討していくことも必要」や「学区を越えた通学が可能かどうかも含めて考えるべき」、「学校を選べるのはいいが、市内で児童を取り合うことになるので、少子化と照らし合わせて検討する必要がある」としている。

検討委の清水宏幸委員長は本紙の取材に対して、「学校の適正規模小だけではない。市全体の児童数を踏まえて考え方を整理し、検討していく」と話し、今年度末に市教委に答申する予定という。

また、市教委は、検討委や住民の意見を踏まえて、今後の方針を決めるとしている。

当日は、県内外から約40人が出場。3人1組になつてアユの縄張りをつ

写真館協会100年「山梨県写真館協会」(機務文会長)が、創立

山梨県内で新事業に取り組み事業者が、企業や大学、行政の担

ていきたい」と語った。県の新事業チャレンジ推進課の久保嶋昌史課長は、「地域に根差した事業に取り組み人が地元でプレゼンすることで、活動の周知や支援の輪が広がると考える。今後も葦崎市や北杜市以外の地域でもチャレンジピッチを行ってほしい」と話した。

短信

アユ釣り大会開催



国内でアユ釣りの教室や大会を開いているノジマフィッシングスクール(群馬県・野崎玉造理事長)は、8月30日、武田橋上流の釜無川河川緑地を会場にして「NFS杯争奪全日本アユ釣り選手権大会」を開き、釣り愛好家が釣果を競った。

この大会は、国内でアユ釣りができる河川を広く紹介することや、愛好家同士の親睦を図ることを目的に2008年から年1回、石川県や高知県など、会場を変えて実施しているもので、山梨県での開催は初めてという。

当日は、県内外から約40人が出場。3人1組になつてアユの縄張りをつ

駅そば
うまい・やすい・早い
三拍子
甲府北口店・葦崎駅・長坂駅
小淵沢駅・富士見駅

駅弁の丸政
お弁当・料理を承ります。
スタッフ募集中
お気軽にお問い合わせ下さい。
Tel 0551-36-2521

法人設立・各種許認可申請・相続手続きなど、承ります。
富士見合同オフィス
ひろ行政書士事務所
行政書士 浅川 ひろやす
甲府市富士見1-2-25 河埜ビル2階 TEL:090-2177-1281(浅川)

葦高同窓会招待サッカー 課題克服し、冬大会へ

県立葦崎高等学校同窓会 実行委員長(山田常明)等、学校サッカー部の技術



右サイドからセンタリングを上げる
葦崎高校サッカー部の選手

力やチーム力の向上を図ることを目的にした「同窓会記念招待サッカー試合」を、8月23日に葦崎中央公園陸上競技場で開き、全国高校サッカー選手権大会の準優勝や全国高校総合体育大会ベスト4などの実績がある私立京都橘高等学校サッカー部(京都府)を迎えた。

当日は40分ハーフの試合を実施。会場では、同窓会関係者や保護者など約150人が選手たちに声援を送る中、葦崎高校は、前半13分に左サイドからのフリーキックで先制点を許し、0対1で折

り返した。

後半は、追加点を許した直後の52分、相手チームのバックパスに反応してゴールを決め、1対2と詰め寄るも、アディ

ショナルタイムに失点を重ねて1対6で敗れた。

同窓会招待サッカー委員会の今福幸次委員長は、「結果を見ると完敗に向けて鍛えていってほしい」と話した。

夏の夜を彩る花火大会



8月16日、葦崎市の夏の夜空を鮮やかに染める「第59回武田陣没将士供養会 武田の里にらさき花火大会」が、釜無川河川緑地公園で開かれ、約4万人(主催者発表)の観客が大輪の花火を楽しんだ。(写真)

花火の点火式には、葦崎市出身でバリ五輪レスリンググレコローマンスタイル60kg級のコメダリストの文田健一郎選手を迎え、カウントダウンで点火すると、スターマインや噴出花火など、約600発が音楽と連動して葦崎市の夜空を彩った。

輪投げ大会

シニアクラブ

葦崎市シニアクラブ連合会(小田切優会長)は、市内のシニアクラブ(60代〜90代)のメンバー同士が交流する「第4回シニア輪投げ大会」を、8月29日に東京エレクトロン葦崎アリーナで開き、団体戦は大草町の大草シニアクラブA、個人戦は葦崎地区の駒井きよみさんが優勝した。



当日は、1チーム5人編成の16チームによる団体戦と12人による個人戦が行われ、4人離れた場所にある1〜9の点数のピンが立体的に向かってリングを1人5回投げ、3ゲームの合計得点で順位を競った。(写真)

参加者たちは、一投ずつ真剣な表情で狙いを定めてリングを投げ、高得点に入ると、チームメイトや相手チームから拍手や歓声が上がっていた。

藤井町から参加した江上和徳さん(85)は、「普段は見ない顔の人たちと交流できるのはいいこと。みんな元気にプレーしているのを見て、こちらにも元気をもらえました」と笑顔で話した。

▼主な大会結果

▽団体戦

①大草シニアクラブA②

坂の上シニアクラブA(龍岡町)③坂井ふるさとシニアクラブ(藤井町)▽個人戦

①駒井きよみ②守屋七美(藤井町)③小田切博道(同)

なつまつり開催

にららん子ども食堂

NPO法人にららんは、8月23日、葦崎市社会福祉協議会や葦崎ロータリークラブと協力して「にららん子ども食堂なつまつり」を大草町の老人福祉センターで開き、親子約30人が来場した。

この「にららんなつまつり」は、乳幼児〜高校生とその保護者に夏休みの思い出をつくらせようという2024年から実施しているもので、今回で3回目。



また、県内の高校生や大学生のボランティアが企画したビンゴ大会やじゃんけん大会が行われ

当日は、老人福祉センターの大広間にビューストロガノフやホットドッグなど約10種類の料理がビュッフェスタイルで用意され、来場者が舌鼓を打ったほか、綿菓子やかき氷の体験ブースも設けられ、夏祭りの雰囲気を楽しんでいた。

たほか、葦崎ロータリークラブからにらんに炊飯器やのぼり旗などの備品を寄付する贈呈式も行われた。(写真)

大草町から親子で参加した40代の母親は、「子どもたちが、ビンゴやじゃんけんで楽しんでいる姿を見て、参加してよかったと感じた」といい、10代の長女は、「年の離れたお姉さんたちと遊べて楽しかったです」と笑顔で話した。

にらんの内藤慶子理事長は、「それぞれの参加者が食事や遊びを通して交流している姿を見て、子ども食堂を続けていってよかったと実感した」、「葦崎ロータリークラブ様から希望の物品を寄付していただいたことに感謝しています」と話した。

一般産業機械等の部品の加工業務を行っております。

(株)石原精機製作所

HP 0551-22-7268
isihara@wish.ocn.ne.jp
〒407-0033 山梨県葦崎市竜岡町下条南割 1981-8

「味・健康・安全」…そのこだわりを商品化する
(甘味料・調味料・調味液・品質保持剤・健康食品)

JAS GMP登録 JAS認定工場

ツルヤ化成工業株式会社

〒407-0033 山梨県葦崎市竜岡町下条南割 995-400
TEL: 0551-23-0330 FAX: 0551-22-9988

全天候型舗装補修材

エース・パッチ ACE-PATCH

代表取締役社長 浅川 貴

株式会社 関東技研 TEL 0551-22-3235
本社・工場 葦崎市六山町三ツ石8786 https://kt-giken.co.jp

自宅のお風呂場に合った
ぴったりサイズ
システムバス
対応

住まいの事なら、なんでもご相談ください

豊栄工業(有)
葦崎市旭町上条南割3314-152
TEL0551-23-5552

ペットのご供養・火葬 ペットセレモニーあさひ

大切な家族とのお別れをご一緒に
仏教寺院住職が運営するペット葬送専門店です。
大切なご家族のお見送りを火葬から
ご供養まで責任をもってご提供いたします

移動火葬車にて出張のご供養にも対応いたします

〒407-0046 山梨県葦崎市旭町上条南割 3022
(県立北病院／セブンイレブン旭町店至近)
☎37-4054 (営業 10:00-16:00)

**中古車高値買取
キャンペーン**

カーショップガーデン

株式会社ガーデン
〒400-0107 甲斐市志田 606-1
Tel:0551-45-9016
営業時間: 10:00 ~ 19:00 定休日: 水曜日、第4日曜日

毎週火曜日
経営者モーニングセミナー開催
参加費無料

9月の講演内容
9/8 「1年間役職から学んだ倫理の学び」
葦崎市倫理法人会 幹事 横森 由賀様
9/15 「これまでの振り返りと今後の抱負」
葦崎市倫理法人会 会長 山田 七穂様
9/29 「自衛隊の概要と山梨地本の取組み」
自衛隊山梨地方協力本部 本部長 桑原 和洋様

※9月1日の華木の村(株)代表取締役 船木上次 様の講演は終了しました。予告なく議題が変更になる場合がございます。

関係を大切に仲間を募集集中！
「明倫」「愛和」「尊徳」の実践

葦崎市倫理法人会
参加を希望の方は事前にご連絡下さい
☎0551-42-2346(小泉園ビル・エス・ワイ)

15周年祭だよ！みんなで遊びにきてね！

NICORI 祭 全館まるごと16企画！
音楽・体験・クイズ・マルシェ

2026年
9/6 (日)

入場無料 駐車場完備

B1F 音楽・お弁当作り 1F 体験・鉄道 2F/3F 親子・クイズ

同時開催 NIRAマルシェ 10:00-15:00/1F屋外スペース

ライブ・鉄道・あそべる水族館・大型紙芝居
お弁当づくり・親子広場・クイズ ほか

葦崎市民交流センター SASAKI NICORI
葦崎市若宮1-2-50 ☎0551-22-1121
※内容は変更になる場合があります